

県南保健所感染症情報

令和6年 第 43 週

令和6年10月21日 ~ 令和6年10月27日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 43 週						警報レベル 開始 終息	注意 報レ ベル	
		41 週		42 週		43 週		全国		長崎県		県南保健所				
	インフルエンザ定点	0.75		1.50		2.00		0.87		1.44		2.00		30	10	10
	COVID-19	0.75		0.38		1.13		1.69		0.99		1.13				
小児科 定点	RSウイルス感染症	0.20		0.20		0.00		0.24		0.05		0.00				
	咽頭結膜熱	0.00		0.20		0.20		0.22		0.09		0.20		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9.80	警報	10.80	警報	12.80	警報	1.94		2.77		12.80	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.40		0.20		0.00		2.66		1.23		0.00		20	12	
	水痘	0.00		0.20		0.00		0.20		0.02		0.00		2	1	1
	手足口病	7.60	警報	1.40		3.60		8.06	警報	5.07	警報	3.60		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00		0.00		0.00		0.33		0.00		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00		0.00		0.20		0.27		0.18		0.20				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.25		0.59		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.03		0.02		0.00		6	2	3
眼科 定点	急性出血性結膜炎	1.00	警報	0.00		0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	4.00		1.00		4.00		0.49		0.63		4.00		8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.03		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.04		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		2.49		1.92		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第43週】 レジオネラ症 患者1名(70代・女性)
五類感染症	報告なし

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆レジオネラ症

レジオネラ属菌による細菌感染症です。レジオネラ属菌は、自然界(河川、湖水、温泉や土壌など)に生息している細菌で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。レジオネラ症の潜伏期間(感染してから症状が出るまでの期間)は、2~10日です。レジオネラ症の主な病型としては、重症のレジオネラ肺炎と軽症のポンティアック熱が知られています。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。まれですが、心筋炎などの肺以外の症状が起こることもあります。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。軽症例もあるものの、適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。これに対して、ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは一過性のもので、自然に治癒します。主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい霧やしぶき)の吸入などによって、細菌が感染して発症します。ヒトからヒトへ感染することはありません。①エアロゾル感染:レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾルを吸入することによって感染します。代表的なエアロゾル感染源としては、冷却塔水、加湿器や循環式浴槽などがあります。②吸引・誤嚥:エアロゾル感染以外に、温泉浴槽内や河川で溺れた際に汚染された水を吸引・誤嚥したことによる感染事例があります。③土壌からの感染:レジオネラ属菌が汚染された腐葉土の粉じんを吸い込んだことが原因と推定される感染事例があります。加湿器を使用する際の注意点は、超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。また、循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など)を備え付けている場合は、レジオネラ症を予防するため、浴槽内に汚れやバイオフィーム(生物膜。細菌で形成される「ぬめり」。)が生じないように定期的に洗浄等を行うなど、取扱説明書に従って維持管理しましょう。汚れや「ぬめり」を落としてレジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすることが大切です。